

高島平二丁目団地自治会

1972年（昭和47年）の入居開始以来、現在に至る高島平二丁目団地の歴史は、当初の急激な子ども達の増加、小学校もプレハブ校舎を建設しての急場しのぎ等に始まりましたが、今では居住者の30%強が70歳以上となり世の中の少子高齢化の波が押し寄せて来ています。

自治会としても高齢者の方々への配慮が一番大きい課題となっていますが、大家さんのUR都市再生機構に対しては、若い人達（新婚さん）が入居しやすい家賃体系を考えてもらい、高齢化率を引き下げ、多くの子ども達が元気に遊び回っていた、昭和50・60年代当時の活気ある街の再現を願い、高齢者と子ども達が共に楽しくすごせる団地となるよう努力していきたいとおもっております。

※令和4年2月28日に発行した「板橋区町会連合会 創立60周年記念誌」の紹介文を掲載しています



高島平団地 航空写真